

米国大学の技術移転部門の FY2026 年次報告書に当社の LAT1 阻害剤開発が掲載

— 臨床開発の進展を紹介 —

2026 年 8 月 14 日

ジェイファーマ株式会社

ジェイファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：吉武益広、以下「当社」）は、米国 Georgetown 大学の Office of Technology Commercialization（以下「Georgetown OTC」）が公表した FY2026 年次報告書において、当社の LAT1 阻害剤開発および Georgetown 大学との連携が紹介されたことをお知らせします。

同報告書では、Georgetown 大学が保有する中枢神経系の炎症性疾患（多発性硬化症を含む）に関する用途特許について当社が取得した独占的な実施権を基盤として、アミノ酸トランスポーター阻害剤の第 1 相臨床試験を開始したことが紹介されています。また、同プログラムと、同じ LAT1 阻害アプローチを用いる当社のがん領域における第 3 相臨床試験が、当社の新規株式公開（IPO）を支えたことについても記載されています。

本報告書で紹介された中枢神経系疾患プログラムは、当社が多発性硬化症を対象に開発する JPH034 に関するものです。当社は、2019 年から Georgetown 大学との共同研究を行い、当社が独占的通常実施権を有する JPH034 の物質特許に加えて、2024 年には、同大学が有する関連特許の全世界を対象とする独占的な実施権を取得しました。JPH034 は、2026 年 3 月に米国第 1 相臨床試験を開始しました。

Georgetown University OTC FY2026 年次報告書（英文）

URL: <https://georgetown.app.box.com/v/2026-otc-annual-report-final>

※掲載箇所：p.6 「Licenses, Partnerships, and Collaborations」

「本プログラムが Georgetown OTC の FY2026 年次報告書に掲載されたことは、当社と同大学の連携による研究開発の進展を示すものと考えております」と、当社代表取締役社長の吉武益広は述べています。

当社は今後も、Georgetown 大学との連携を一層深めながら、多発性硬化症を対象とする JPH034 の開発を着実に推進し、アンメット・メディカル・ニーズに応える新たな治療選択肢の創出に取り組んでまいります。

【JPH034 について】

本剤は、高い脳内移行性を有する LAT1 阻害剤です。脳内へ移行し、脳内の免疫細胞であるミクログリアを標的とすることで、既存薬による治療選択肢が限定的である「再発を伴わない二次性進行型多発性硬化症」に対する新たな治療アプローチとなる可能性があります。

本剤の開発は、評価水準の高さで知られる米国 National Multiple Sclerosis Society (NMSS) の Fast Forward Research Grant に採択され、60 万米ドルの助成を受けています。また、AMED 創薬ベンチャーエコシステム強化事業（研究開発課題名「多発性硬化症に対する新規 LAT1 阻害剤」）にも採択され、同事業の支援のもと開発を推進してきました。

知財面では、当社は米国 Georgetown 大学が保有する LAT1 阻害剤の中枢性炎症性疾患（多発性硬化症を含む）に関する用途特許について、グローバルで独占的通常実施権を取得しており、開発および商業化における独占的な地位を強化しています。

【関連情報】

- ・ 米国で実施中の Phase1 試験（JPH034）
https://www.j-pharma.com/clinical_trial/jph034_p1/
- ・ ジョージタウン大学とのライセンス契約締結について（2024 年 6 月 3 日）
<https://www.j-pharma.com/news/2173/>
- ・ JPH034 の第 1 相臨床試験を開始（2026 年 3 月 23 日）
<https://www.j-pharma.com/news/3329/>
- ・ 「JPH034」第 1 相臨床試験：ClinicalTrials.gov に登録（2026 年 4 月 20 日）
<https://www.j-pharma.com/news/3473/>

【ジェイファーマ株式会社について】

当社は、「SLC トランスポーターの新たな可能性を追求し、アンメット・メディカル・ニーズに応える革新的新薬の開発を通じて、世界中の人々が健康を維持し、希望を持続けることに貢献する」を企業理念としています。この理念のもと、SLC トランスポーターのひとつで創業者が発見した LAT1（L 型アミノ酸トランスポーター1）に注力し、がんや自己免疫疾患において既存薬では対応できない患者様のニーズに応える新薬開発を推進しています。

ジェイファーマ株式会社の詳細は、当社ウェブサイト <https://www.j-pharma.com/> をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

ジェイファーマ株式会社 企画部

TEL：03-6432-4270

<https://www.j-pharma.com/contact/>